

学校運営協議会議事録

校名	府立四條畷高等学校
校長名	稲葉 剛

開催日時	令和6年11月27日(水)15:30~17:00
開催場所	大会議室(東館2F)
出席者(委員)	田中保和会長 梅田和子委員 串田ゆか委員 鉄寿広委員
出席者(学校)	稲葉校長 森教頭 轟事務長 浦井首席 西教諭 中尾教諭 村松教諭 中瀬教諭 新井教諭 宮崎教諭 浅田教諭 末吉教諭 中西勇教諭 藤板教諭 金教諭 川口教諭 高教諭 吉井教諭
傍聴者	
協議資料	令和6年度 学校経営計画及び学校評価 グローバルリーダーズハイスクール評価審議会 次第、評価シート 令和7年度使用教科書(選定・採択)一覧表
備考	

議題等(次第順)

- 1 学校長挨拶
- 2 協議・報告
 - (1)「令和6年度取組の進捗状況」について
 - (2)今年度の活動について
 - (3)令和7年度使用教科書について
 - (4)その他
- 3 その他
 - ・次回協議会予定について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ・課題で設定している「中学生の憧れの高校」になるために具体的に何をやる予定なのか。【委員】
→保護者・先生・塾に向けて情報発信する。進学実績以外も考慮して進路指導をしてほしいため。【校長】
- ・部活動指導の教員の負荷について、どのような現状なのか。【委員】
→学校としての顧問体制は整っているが、部活動や時期によって負担に差がある。【教諭】
→時間的な負担は大きいですが、生徒たちの成長を見ると楽しいので、あまり負荷とは感じない【教諭】
- ・部活動指導員の活用状況はどうか。【委員】
→外部指導者を招いている部活もあるが時間が限られている。多くの場合は教員の付き添いが必要。【校長】
→生徒減、教員減の中クラブの数が変わらない現状は厳しい。指導員自体の数が少なく、指導員がついても教員の負担の減少には効果的でない。中学校では生徒や保護者のニーズに合わせるために、地域移行をしている状況。【委員】
- ・生徒たちが主体的にチャレンジしている印象。その背景には、学校としての何か特別な取り組みがあるのか。【委員】
→畷高の情報を入学前から持っていることが積極性の要因の一つだと考えられる。新しいことに挑戦する伝統が引き継がれている。【教頭】
- ・課題として進路実現の「さらなる高みをめざして」と設定している要因は何か。【委員】
→卒業後の進学実績が要因。【校長】
- ・「中学生の憧れの高校」が課題であるが、どのような形で憧れを測ろうとしているのか。【委員】
→具体的な考えは無いが、オープンスクールなどで中学生にアンケートを取りたい。【校長】
- ・3つ目の課題の働き方改革について、教員の休職というケースはないのか。【委員】
→休職者はいないが、ストレスチェックの結果が高ストレスの教員もいるのでケアしていきたい。【校長】
→学校として業務を減らす努力をすべき。【委員】
- ・定員が限られている海外研修に参加できなかった生徒をフォローするために何か取組をしているのか。【委員】
→結果を知らせる時に挑戦したことを褒めて、次も機会があると伝えている。担任にも事前に伝えて慎重に対応。【教諭】
- ・ホームステイの受け入れなどで、海外研修に落ちた生徒を優先するなどの取組はしていないのか。【委員】
→していないが、オーストラリアから来た生徒との交流会は研修に参加できていない生徒を優先している。【教諭】
- ・時間外労働の減少のために、教育委員会としての取組はあるのか。【委員】
→教育委員会の主導的な努力は見られない。【校長】
→補助委員を配置するなど、実質的な教育委員会の努力が必要。そうでなければ、時間外労働の削減は不可能である。【委員】
→SSHに指定されて長く、GL部ができて業務が増加したと考えられるため、補助委員などが配置されるべきである。【委員】

次回の会議日程

日時	令和7年 2月予定
会場	大会議室